

第 6 期 (2025 年度) HIRAKU-Global プログラム 選抜教員 募集

広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学は、中国四国地方を中心とするエリアにおいて、「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成」コンソーシアム(以下、「HIRAKU-Global」という。)を形成し、国際的なコミュニティの中で、創造性豊かな研究を先導し、影響とインパクトを与える研究者を育成するためのプログラム(以下、「HIRAKU-Global プログラム」という。)を推進しています。HIRAKU-Global プログラムでは、国際共同研究を強力に推進していく若手研究者に対して、スタートアップ研究費や中長期海外派遣経費の支援、メンターによる助言、キャリア形成や能力開発に係る各種機会を提供します。

HIRAKU-Global についての詳細は、<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku-g> を参照してください。

このたび、HIRAKU-Global では、広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学においてテニュアトラック教員として研究活動を始めている(または予定している)研究者の中から、HIRAKU-Global プログラム(特徴は後述)を活用しながら国際共同研究を強力に推進することができる、志の高い若手研究者を募集します。

1. 募集人数及び研究分野

広島大学 3 名(分野不問)

山口大学 1 名(分野不問)

徳島大学 1 名(分野不問)

愛媛大学 1 名(分野不問)

※上記募集人数は、後述するスタートアップ研究費や海外派遣の経済的支援を、文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」の補助金によって支援できる人数です。なお、上記の大学及び上記以外の連携機関に所属する若手研究者も、当該補助金による経済的支援が不要な場合(自己財源が確保できる場合)は、相応しい実績や資質等を有する候補者を本プログラムに受け入れます。

2. 応募資格(以下のいずれも満たす者)

- ・博士号取得後 10 年程度以内又は同等程度の研究歴を有する者(概ね 40 歳未満)
- ・広島大学、山口大学、徳島大学、愛媛大学において採用後 2 年程度以内のテニュアトラック教員(または 2025 年 4 月に当該機関でテニュアトラック教員として採用予定の者)

※なお、出産、育児又は介護により研究を中断した者については、個別の事情に応じますので、ご相談ください。

特に、HIRAKU-Global の一員として、HIRAKU-Global を構成する国内大学と海外機関との連携を強化するとともに、国際共同研究の実践を通じて、研究者本人の能力向上及び国際的なビジビリティの向上を図り、HIRAKU-Global の発展を担える意欲ある研究者を求めます。

【HIRAKU-Global プログラム選抜教員としての主な業務】

HIRAKU-Global プログラムによる育成期間中(最大 5 年間)は、各所属機関における教員としての業務の他、HIRAKU-Global の一員として、以下に挙げる業務に携わります。

- 国際共同研究の推進及び研究成果等の発表
- スターター研修・年次大会への出席・参加
- プログラムの進捗及び修了評価に必要な資料等の提出
- 取組や企画・運営への積極的な参画
- 国内外に向けた積極的な情報発信・広報活動

3. 応募方法

募集要項・応募書類は以下 URL よりダウンロードできます。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku-g/news/82941>

必要事項を記入のうえ、応募書類一式を HIRAKU-Global 事務局にメールで提出してください。

提出先メールアドレスは、下記「6. 問い合わせ先」です。

<応募書類>

- ① Application Form (英語で作成すること)
- ② 所属／配属先研究科等の推薦書(研究エフォート 50 パーセント以上の確保を含む)

※PDF 形式で保存した書類を提出してください。

4. 応募締切

2025 年 4 月 11 日(金) 午前 11 時 59 分(日本時間)

※今後の事業の状況により変更の可能性があります。

※4 月 14 日(月)までに事務局から応募受諾メールが届かない場合は、下記「6. 問い合わせ先」までご連絡ください。

5. 選考方法及び選考結果

- ・第一次審査(書類審査) 実施予定日: 2025 年 4 月中旬から 5 月上旬
- ・第二次審査(面接審査) 実施予定日: 2025 年 5 月中旬から下旬
- ・選考結果 通知予定日: 2025 年 6 月下旬から 7 月上旬

第一次審査は、書面に基づく選考を行います。第一次選考通過者には、メールにて第二次審査の日時・会場等をお知らせします。また、第二次審査では主として英語による面接を行い、HIRAKU-Global プログラムによる支援に相応しい学術面での特色や実績(海外での研究経験等を含む)、意欲、コミュニケーション能力(国際共同研究に必要な高いコミュニケーション力)、資質等を総合的に審査します。なお、選考結果については、応募者全員にメールにて通知します。採否理由などの問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。

6. 問い合わせ先

HIRAKU-Global 事務局(広島大学学術・社会連携室)

E-mail: consortium-koubo@office.hiroshima-u.ac.jp

<HIRAKU-Global プログラムの特徴>

1. プログラムによる支援期間

HIRAKU-Global プログラムの選抜教員が、各機関においてテニユアを獲得するまでの最大 5 年間

※支援期間中、PI として自立して研究活動が行える環境と研究エフォート 50%以上を確保

※支援期間中にテニユアを獲得した場合であっても、選抜教員として支援を継続する場合がある

※本プログラムの達成目標の水準に達したと認められる場合は早期修了

2. プログラムによる主な支援内容

(1) 研究スタート支援(2 年間で最大計 200 万円^(注))

支援開始後 2 年間、スタートアップ研究費 最大計 200 万円^(注)を支給。

^(注)「未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)」や「科学技術人材育成費補助事業(卓越研究員事業)」で採用されたテニユアトラック教員については、すでにスタートアップ研究費を支給済みのため、追加支給はされない。

(2) 海外への中長期派遣制度(3 年間で最大計 200 万円)

本プログラムによる支援開始後 3 年間、海外機関での共同研究または研究交流を目的として、旅費、滞在費等、最大計 200 万円を支給。滞在期間が数週間程度以上の中長期派遣を少なくとも 1 回以上実施すること。短期も含め複数回の海外派遣、海外からの招聘にも利用可。

海外派遣先は、①HIRAKU-Global が戦略的に連携を強化する海外機関、②本プログラムの選抜教員本人が開拓する海外機関を中心に、研究者本人の希望、メンターとの面談などを通じて決定。

なお、滞在期間が数週間程度以上の中長期派遣については、本プログラムの選抜教員本人による海外受入機関への研究提案とその評価等の実施を予定。

(3) 研究者能力開発支援

国際的な活躍を目指す研究者として、世界的視野でのビジョン構築及び中長期的なキャリア形成をサポートするとともに、国内外の研究者との協働、研究チームの運営、研究指導・メンタリング、外部資金獲得、トップジャーナルへの論文投稿等、個々人の専門性やニーズに応じて、能力向上を図るための各種サポートを実施。

(4) 複数メンターによる支援

プログラム期間中は、複数のメンターが、本プログラムの選抜教員の実践計画、目標達成のための進捗確認、テニユア獲得やキャリア構築のための助言等を実施。

- HIRAKU-Global メンター:世界的に活躍できる研究者育成の観点から専属メンターを配置
- 所属機関メンター: 本プログラムの選抜教員の各所属機関において手配
- 海外メンター: 本プログラム参画後、選抜教員自身が独自に開拓

(5) 事務局による研究推進支援

本プログラムの選抜教員に対しては、リサーチ・アドミニストレータ(URA)による外部資金獲得や共同研究推進等の支援の他、事務局として海外派遣や国際的なビジビリティ向上のための各種支援を実施。